

# 「やさしい日本語」に関するアンケート調査結果

外国人活躍・共生社会推進課

## 1 調査目的

「やさしい日本語」とは、難しい言葉を言い換えるなど、日本語を母語としない人にもわかりやすいように配慮した話し方・書き方のことです。

県では、外国人県民の増加に対応するため「日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」の一環として「やさしい日本語」の普及に取り組んでいます。県民の皆さんの「やさしい日本語」についての活用状況などを把握し、今後の施策の参考とさせていただくため、皆さんの率直なご意見やご感想を伺いました。

## 2 調査対象等

調査対象: 県政モニター839人(郵送モニター:194人 インターネットモニター:645人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和6年10月4日～10月31日

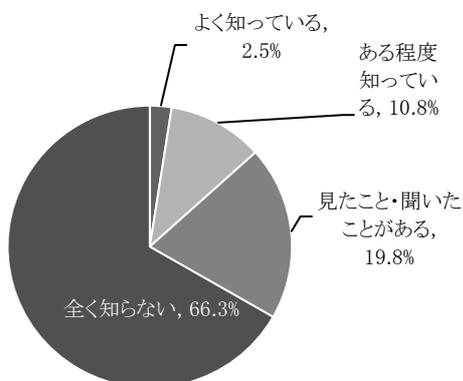
回収結果: 732人(回収率87.2%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

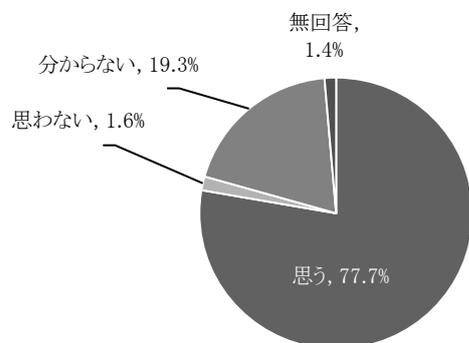
そのため、合計が100%にならない場合があります。

## 3 結果概要

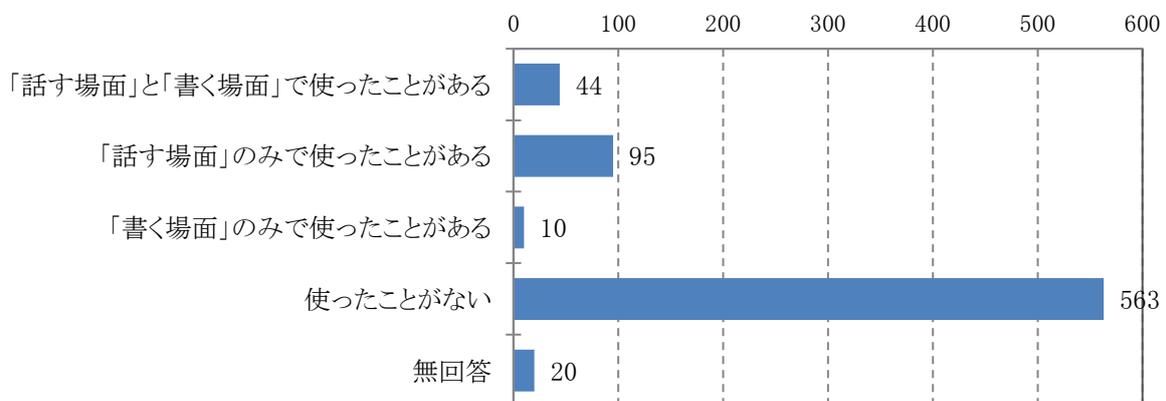
### ○「やさしい日本語」を知っているか。



### ○「やさしい日本語」は有用だと思うか。



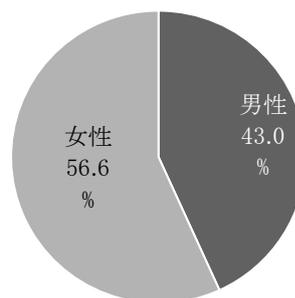
### ○「やさしい日本語」の使用



## 4 回答者属性

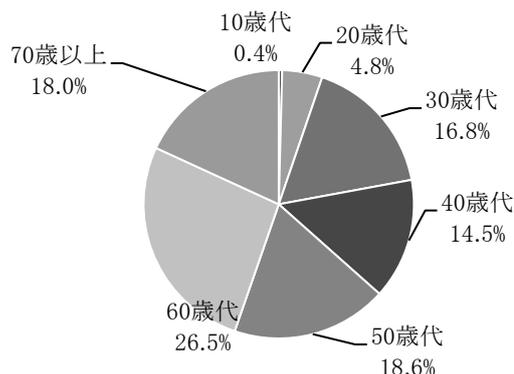
### (1) 性別

	人数	割合
男性	315	43.0%
女性	414	56.6%
無回答	3	0.4%
計	732	100.0%



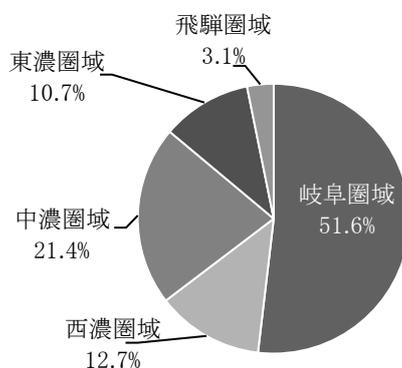
### (2) 年代別

	人数	割合
10歳代	3	0.4%
20歳代	35	4.8%
30歳代	123	16.8%
40歳代	106	14.5%
50歳代	136	18.6%
60歳代	194	26.5%
70歳以上	132	18.0%
無回答	3	0.4%
計	732	100.0%



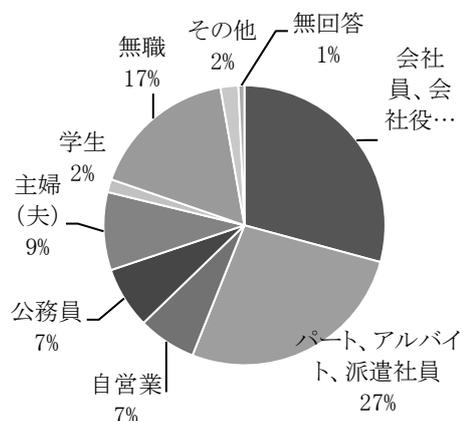
### (3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	378	51.6%
西濃圏域	93	12.7%
中濃圏域	157	21.4%
東濃圏域	78	10.7%
飛騨圏域	23	3.1%
無回答	3	0.4%
計	732	100.0%



### (4) 職業別

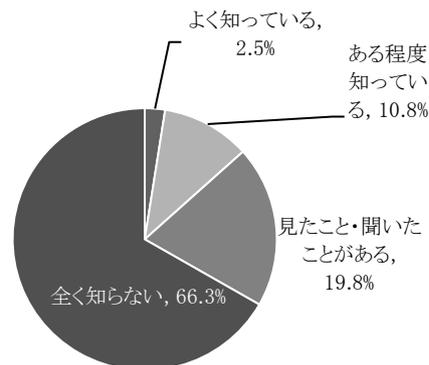
	人数	割合
会社員、会社役員	214	29%
パート、アルバイト、派遣社員	196	27%
自営業	49	7%
公務員	52	7%
主婦(夫)	66	9%
学生	11	2%
無職	124	17%
その他	15	2%
無回答	5	1%
計	732	100%



## 5 調査結果

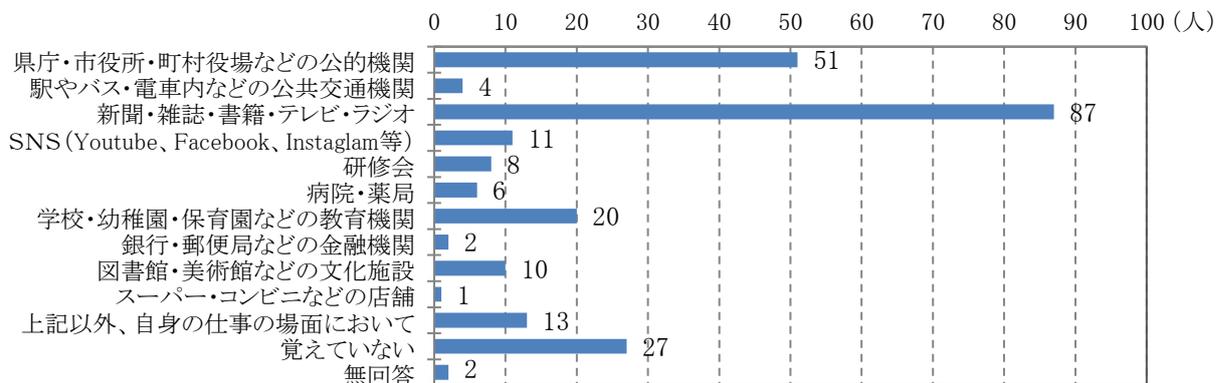
### 問1 「やさしい日本語」を知っていましたか。

	人数	割合
よく知っている	18	2.5%
ある程度知っている	79	10.8%
見たこと・聞いたことがある	145	19.8%
全く知らない	485	66.3%
無回答	5	0.7%
計	732	100.0%



### 問2 (問1で「よく知っている」「ある程度知っている」「見たこと・聞いたことがある」と答えた方) 「やさしい日本語」をどこで知りましたか(聞きましたか)。

	回答数	割合
県庁・市役所・町村役場などの公的機関	51	21.1%
駅やバス・電車内などの公共交通機関	4	1.7%
新聞・雑誌・書籍・テレビ・ラジオ	87	36.0%
SNS (Youtube、Facebook、Instaglam等)	11	4.5%
研修会	8	3.3%
病院・薬局	6	2.5%
学校・幼稚園・保育園などの教育機関	20	8.3%
銀行・郵便局などの金融機関	2	0.8%
図書館・美術館などの文化施設	10	4.1%
スーパー・コンビニなどの店舗	1	0.4%
上記以外、自身の仕事の場面において	13	5.4%
覚えていない	27	11.2%
無回答	2	0.8%
計	242	100.0%

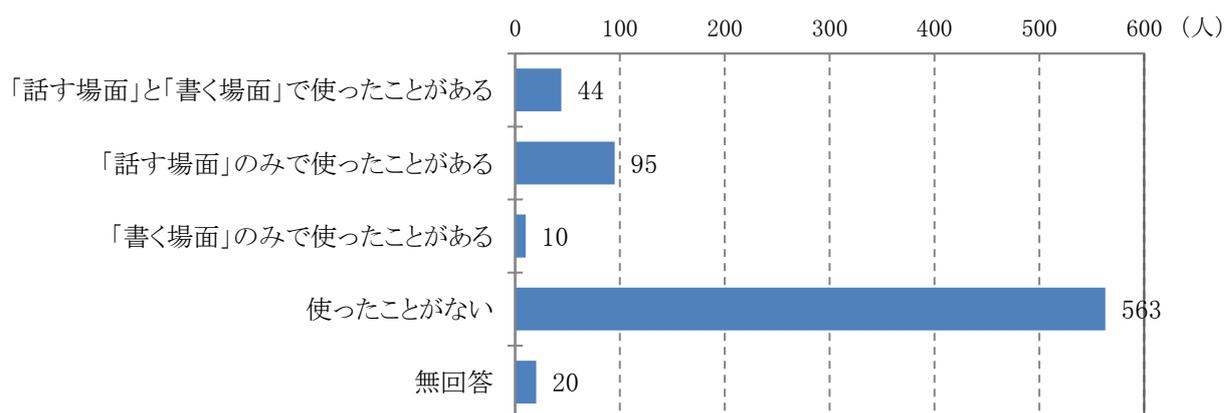


#### 「上記以外、自身の仕事の場面において」のうち主なもの

- ・ ウェブニュース
- ・ 仕事
- ・ 日本語ボランティア
- ・ 国際交流イベント

問3 「やさしい日本語」を使ったことがありますか。

	回答数	割合
「話す場面」と「書く場面」で使ったことがある	44	6.0%
「話す場面」のみで使ったことがある	95	13.0%
「書く場面」のみで使ったことがある	10	1.4%
使ったことがない	563	76.9%
無回答	20	2.7%
計	732	100.0%



問4-1 (問3で「話す場面」と「書く場面」で使ったことがある、「話す場面」のみで使ったことがある」と答えた方)

「話す場面」として、どのような場面で使いましたか。(複数回答)

回答者 139 人

	人数	割合
災害関連情報の提供や緊急災害のとき	9	6.5%
日本の文化・習慣について話すとき	41	29.5%
病院などにおいて薬や健康診断などについて話すとき	22	15.8%
ごみ収集などの生活情報について話すとき	14	10.1%
税金・年金・医療保険などについて話すとき	12	8.6%
学校・幼稚園・保育園などの生活情報について話すとき	23	16.5%
妊娠・出産・子育て・福祉サービスなどについて話すとき	7	5.0%
上記以外、自身の仕事の場面において	59	42.4%
無回答	4	2.9%
計	191	-

「上記以外、自身の仕事の場面において」のうち主なもの

- ・ イベント
- ・ 仕事(病院、金融機関、学校、飲食店、スーパーマーケット、農業、接客)
- ・ 日本語学校ボランティア

問4-2 (問3で「話す場面」と「書く場面」で使ったことがある、「話す場面」のみで使ったことがあると答えた方)

「話す場面」として、どのような場面で使いましたか。(複数回答)

回答者 54 人

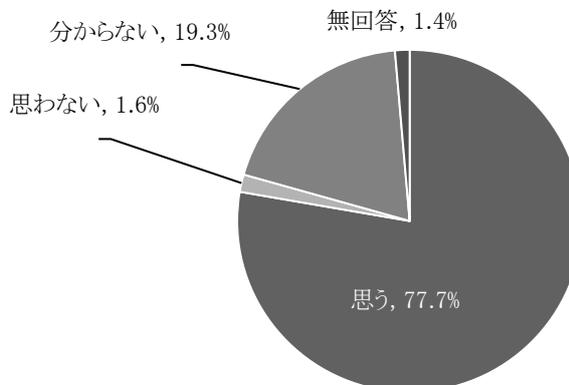
	人数	割合
災害関連情報の提供や緊急災害のとき	1	1.9%
日本の文化・習慣について話すとき	15	27.8%
病院などにおいて薬や健康診断などについて話すとき	7	13.0%
ごみ収集などの生活情報について話すとき	7	13.0%
税金・年金・医療保険などについて話すとき	6	11.1%
学校・幼稚園・保育園などの生活情報について話すとき	11	20.4%
妊娠・出産・子育て・福祉サービスなどについて話すとき	5	9.3%
上記以外、自身の仕事の場面において	16	29.6%
無回答	2	3.7%
計	70	-

「上記以外、自身の仕事の場面において」のうち主なもの

- ・ イベント
- ・ 仕事(宿泊業、各種団体)
- ・ 病院

問5 「やさしい日本語」は外国人県民に伝達する際、必要(有効)だと思いますか。

	人数	割合
思う	569	77.7%
思わない	12	1.6%
分からない	141	19.3%
無回答	10	1.4%
計	732	100.0%



問6 あなたが「やさしい日本語」を使うためには、どのようなサポートが必要ですか。

	回答数	割合
教材の提供（教科書・ドリルブック等）	231	31.6%
学ぶ場の提供（ワークショップ・研修等）	239	32.7%
外国人県民との交流の機会の提供	222	30.3%
その他	27	3.7%
無回答	13	1.8%
計	732	100.0%

「その他」のうち主なもの

- ・ オンライン教材
- ・ リテラシー教育
- ・ 「やさしい日本語」の周知
- ・ 外国人とのコミュニケーション
- ・ 必要性を感じない

